

図書館だより

NPO 法人はまでら 4 つのや図書館
第 99 号 2025(令和 7)年 1 月 8 日

～ 感謝の気持ちいっぱい、心ほっこり温かく ～

館長 由良 芳子



新しい年を爽やかに迎えました。今年で当図書館は 15 歳に、また、図書館のある校区文化会館は 12 歳になります。年末にはスタッフ一同、文化会館の隅から隅まで心を込めて大掃除をしました。そして、お正月の竹飾りや書など、地域の方々に応援を頂き新年のウインドウを飾ることができました。感謝の気持ちいっぱい、心ほっこり温かい新年です。

そしてお知らせですが、図書館だよりが、今回、99 号になりました。次号(3 月発行予定)は、100 号になります。これもひとえに地域の皆様、また日本各地の会員の皆様の応援のおかげです。心より御礼を申し上げます。

そこで、皆様にお願いがございます。図書館だよりの感想、希望、提案などを、お寄せいただきたいと思います。より豊かな図書館だよりに向けてのお知恵拝借です。

＜方法：郵送、メール、メモ持参、口頭でスタッフへ…など、
お名前も一緒にお知らせくださいね＞

絵本作家
さいとうしのぶさんより

新刊絵本「わんわん ばあ！」ご寄贈！



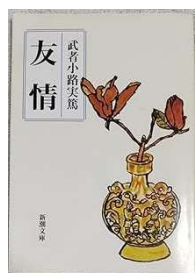
「毎朝、ジョー君と散歩しています。

ジョー君は、チワワとビションフリーゼのミックス犬です。毛は白く、耳がピンと立っています。そんなジョー君を見つけた小さな子は、うれしそうに「わんわん！」と指さして言ってくれます。そばにいた大人も「わんわん、かわいいねえ！」と。ジョー君も私もとてもうれしい気分になります。通り過ぎる多くのちびっこが「わんわん！」と指さしてくれるので、そうだ、「わんわん！」の絵本を作ろうと、アイデアが湧いてきたのです。……後略……」

これは、さいとうしのぶさんから届いた新刊の絵本に挟んであったジョー君の写真(左)入り紹介文です。絵本「わんわん ばあ！」は、可愛いいぬがかけている場面から始まります。ぜひ手に取って、ページをめくって、「わんわん！」「ばあ！」と声をあげてください。躍動感と愛くるしさあふれる絵本です。さいとう先生、ご寄贈ありがとうございました。

『わたしのお気に入りの一冊』

ご自分のお気に入りの一冊を紹介し合うコーナーです。



新潮文庫

書名『友情』

著 者：武者小路実篤

紹介者：黒田 詩織 さん (堺市西区)

「私この頃だんだんと神と云うものが あるような気がしてきましたわ」

この小説を読んだことがある人なら、なんと残酷な言葉だろうと思わずにはいられないはずである。

主人公・野島の杉子への清らかで行き過ぎた愛の妄想を見れば、恐ろしくとも良い結果に落ち着くことを願いたくなる。

杉子の言動に一喜一憂する野島。

親友のために自身の気持を押し殺す大宮。

二人の友情は誠実さで彩られているが故に、終盤の大宮の手紙や選択をもって彼を『最低・最悪』とは罵れない。

だからといって杉子の野島への気持ちも分かるために、一方的に悪とも断じれない。

野島の愛・杉子の気持ち・大宮の葛藤。

恋というのはまます、友情とのせめぎ合いは、まさに青春ともいえるだろう。

ただ、己を奮い立たせ再起し、先へ進まんとする野島の(大宮が素晴らしいと評した)心が臭らないことを願うばかりである。

Xmas おたのしみ会

12 月 25 日(水) 15:00～



Xmas おたのしみ会は、恒例の『はまでら 4 つのやの歌』に始まり、スタッフによる読み聞かせ、大型絵本『ぐりとぐらのおきやくさま』が続きます。パネルシアター『まほうのでんしレンジ』では、最後にクリスマスケーキが出来上がりました。

次は、昨年に引き続き地域にお住いの安田さんによるマジックショー。身近な物で手作りした箱や筒などを使って次々と見事なマジックを披露してくださいました。種明かしをしてくれたマジックもあるので、練習すればできるようになるかも…?

最後はお待ちかねの池島さんによるコンサートです。図書館スタッフ演奏さんのウクレレも加わって、さらに楽しくなりました。よく知っているクリスマスソングだけでなく、ディズニー映画の歌や『ハマデラソウの歌』など、バラエティ豊かなプログラムでした。小さな聴衆さんたちも、鈴やベルを鳴らして盛り上げました。今年最後のイベントは、おとなと子ども 40 人ほどが参加し、大盛況でした。(スタッフ 大木)



お 知 ら せ

※いずれも

- ・はまでら 4 つのや図書館にて
- ・参加費無料

◎大人のための読み聞かせ

2025 年 1 月 16 日(木) 11:00～
毎回ほのぼのとした読み聞かせ会です

◎おっちゃんの読み聞かせ

2025 年 2 月 5 日(水) 15:00～
読み手：ふなお幼稚園園長 三宅 育先生

◎4 つのや研修(絵本講話)

2025 年 2 月 26 日(水) 10:30～12:00
講師：堺市立西図書館館長代理・絵本専門士
家近 伊作氏
堺市立西図書館司書 香川 碧氏

演題：『あたらしい絵本について一隠された魅力ー』

◎春のおたのしみ会

2025 年 3 月 26 日(水) 15:00～
楽しい読み聞かせ、パネルシアター、他

- ・深緑の手袋編んでほっこりし
- ・『手袋』の絵本に込める平和かな
- ・登山道に手袋見つけ枝にかけ
- ・指にひたり息合うように手袋も
- ・手袋で作った懐かし指人形
- ・手袋待ち人來すと道の端
- ・信濃路の道祖神にも手袋が
- ・手袋を外し柏手祈りの手
- ・気がつけば母の手袋似合う歳
- ・底干してひと筋となる冬の川
- ・差し上げたし弥勒菩薩に手袋を

次回(三月)の兼題は「ぶらんこ」

* 投句締切 二月五日(水) または自由

兼題「手袋」

俳句ができたよ・きりり十選 九十九号
令和七年 一月 八日

直子 雅子 昭義 勝子 幹子 ユウ子 忍子 ひとみ 文子 芳子

2025 年 1 月・2 月・3 月の開館日時

どなたでもご利用いただけます。

◎水曜日 14 時～17 時

1 月: 1 日(休)・8 日・15 日・22 日・29 日
2 月: 5 日・12 日・19 日・26 日
3 月: 5 日・12 日・19 日・26 日

◎木曜日 10 時～17 時

(第 2・第 4 木曜日 12 時～)

1 月: 2 日(休)・9 日・16 日・23 日・30 日
2 月: 5 日・12 日・19 日・26 日
3 月: 5 日・12 日・19 日・26 日

2024 年度 NPO 会員募集

2024 年 4 月～2025 年 3 月の会員を募集しています。図書館でも受け付けます。

ご支援よろしくお願い致します。

協力会員 1 口 1,000 円/年

賛助会員 1 口 3,000 円/年

正会員 1 口 5,000 円/年

口座名：NPO 法人はまでら 4 つのや図書館

◎ゆうちょ振込先 00950-9-171544

* 払込票にご住所・お名前・お電話番号・
会員種類をご記入のうえ、できるだけ ATM を
ご利用ください。

◎楽天銀行 支店番号 253

普通 7225222

* お名前の後に会員種類をご入力ください。



公式 LINE ⇒

URL yottunoya-library.com

Mail yottunoya@hotmail.com

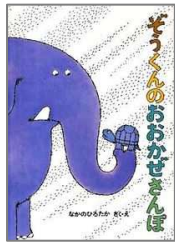
所在地：〒 592-8348 堺市西区浜寺諏訪森町中 1 丁 103-1 (浜寺校区文化会館内) 南海本線諏訪ノ森駅東側線路沿北へ

連絡・・・《警報(大雨、暴風、地震、津波、他)が発令されたときは、図書館は休館します。》

2025. 1 月の新着本より

当月の新着本のリストと紹介文の一部は図書館受付に掲示しています。
ホームページにも掲載しています。※版元ドットコム・Amazon より引用

2025. 2 月の新着本より



ぞうくんのおおかぜさんぽ なかのひろたか

ある大風の日、ごきげんなぞうくんは散歩にでかけます。すると大風に吹かれて、仲良しの、かばくん、わにくん、かめくんがごろんごろんと転がってきます。転がってきたみんなは、大風の中、力持ちのぞうくんに後ろから支えられ、一緒に散歩にでかけることに……。シリーズ3作品目となる本作。簡潔な文章とシンプルな絵で、子どもたちの想像力をかきたてます。常に友だちを気にかけていぞうくんたちのあたたかなやりとりも魅力です。



ねこねこ日本史 ジュニア版 そにしけんじ

日本一可愛い歴史マンガで、ゆる〜く日本史が学べるニヤ！
もしも、あの偉人が猫だったら…？
ねこじゃらしで民衆をあやつる卑弥呼、法隆寺でつめとぎする聖徳太子、だれにでも飛びかかる足利尊氏、おとものサルよりも小さい織田信長、犬を100匹飼う徳川綱吉、マタタビにおぼれる大石内蔵助、異国の猫におどろく坂本竜馬！



たべものれっしゃ ラーメンごう 長谷川あかり

おいしいラーメンになるために、でんしゃにのって出発進行！乗り込んでくる具材たちはとっても個性豊か。たまごやメンマ、他にもたくさんのラーメンの具材たちが大集合！！



はじめての船ずかん STUDIO TAC CREATIVE

日本全国さまざまな航路をむすんでいるフェリーや、一度は乗ってみたい豪華クルーズ船、ものをはこぶ船、重いものを持ち上げる船など、200隻近い数の船が大集合！丈夫なハードカバーで、お子様向けのやさしい文章で書かれているので、乗り物好きのお子様にとりぴったりの1冊です。

- 【特徴】
- ・フェリー、遊覧船、コンテナ船、クレーン船、消防艇、巡視船などおよそ200隻の船を紹介
 - ・一度は乗ってみたい豪華な長距離フェリーやクルーズ船の船内まで見られる！
 - ・海の安全を守る海上保安庁、海上自衛隊の船も充実
 - ・ハードカバーのしっかりとした製本



ライオンのくにのネズミ さかとくみ雪

父親の転勤でライオンのくにに引っ越したねずみの家族。
ライオンが怖くて仕方がない子ねずみだったが、あることをきっかけにライオンと対決することに。
使う言葉も習慣も体の大きさも違う彼らはわかりあうことができるのか？

「優しさと勇氣」についての絵本としても、「国際理解教育」の教材としても読める、幅広い層に届けたい1冊。

ハシビロコウがいく

ゆき・アフリカ/ピート・ワグラー/ひろまつゆきこ



アフリカには、いろんな鳥が住んでいます。なかでも変わっているのは、ハシビロコウ。大きなおなかに靴のようなくちばし、クジラみたいな頭に恐竜のような翼…。おかげでほかの鳥たちは、かげぐちを言いたい放題。でも、実はハシビロコウは、だれよりもすごい鳥だったのです！

もう ねむる じかん

イミ・ハスト/ケータ・リウカ/いわじょうよしひと

ねる前のしずかなじかん。まだようすをみにこないパパ。ぼくがいかなくちゃ！おきにいりの本、もうふ。おみずをワゴンにのせて。パパとぼくの、ねむる前のしあわせなじかん。



ぼくの色、みつけた！

志津栄子/末山りん

トマトを区別できない、肉が焼けたタイミングがわからないことから、色覚障がいが発覚し苦しむ信太朗。母親は悪気なく「かわいそう」といい、試すようなことをしてくるし、症状を知らないクラスメイトから似顔絵のくちびるを茶色に塗ったことを馬鹿にされ、すっかり自信を失ってしまう。眼科の先生は個性のひとつと言ってくれるけれど、まわりがそうはとらえてくれないし…。学年が上がり、クラス担任が変わり自分自身に向き合ってくれたことで、信太朗は自分の目へのとらえ方がすこしずつ変わっていくことに気が付く。



香君 1・2 西から来た少女 上橋菜穂子

1：人並外れた嗅覚を持ち、植物や昆虫の声を香りで聞く少女アイシャ。旧藩王の末裔ゆえ、命を狙われ、ウマル帝国へ行くことになる。遙か昔、神郷よりもたらされたというオアレ稲によって繁栄を極めるこの国には、香りで万象を知る〈香君〉という活神がいた。アイシャは、匿われた先で香君と出会い……。壮大な物語が今開幕！

2：アイシャは〈香君〉が抱える苦悩を知り、藩王国視察官のマシュウとともにオアレ稲の謎と向き合うことに。だがそれはウマル帝国への謀叛行為だった。そんな中、オアレ稲に虫害が発生してしまう。民を飢えの危機から救うべく、アイシャたちは動き出すのだが……。

植物と昆虫が人々の運命を大きく変えていく、

星やどりの声 朝井リョウ

東京ではない海に見える町で、亡くなった父の遺した喫茶店を営むある一家に降りそそぐ奇蹟。若き直木賞受賞作家が、学生時代最後の夏に書き綴った、ある家族が「家族」を卒業する物語。

赤と青とエスキース 青山美智子

メルボルンに留学中の女子大生・レイは、現地に住む日系人・ブーと恋に落ちる。彼らは「期間限定の恋人」として付き合い始めるが……（「金魚とカワセミ」）。額縁工房に勤める空知は、仕事を淡々とこなす毎日に迷いを感じていた。そんな時、「エスキース」というタイトルの絵に出会い……（「東京タワーとアーツセンター」）。

一枚の絵画をめぐる、五つの愛の物語。彼らの想いが繋がる時、奇跡のような真実が現れる——。著者新境地の傑作連作短編。

透明な螺旋 東野圭吾

誰も知らなかった湯川（ガリレオ）の秘密

南房総沖に、男の銃殺死体が浮かんた。同時に、男の行方不明者届を出していた同居人の女が行方をくらませた。捜査にあたった草薙と内海薫はその過程で、思いがけず湯川学の名前に行きつく。草薙はすぐさま湯川の元を訪れたが、彼はそこ、横須賀のマンションで意外な生活を送っていた——。巻末に短篇「重命（かさなる）」を特別収録。

星を掬う 町田そのこ

千鶴が夫から逃げるために向かった「さざめきハイツ」には、かつて自分を捨てた母・聖子がいた。他の同居人は、家事を完璧に担う彩子と、聖子を理想の「母」と呼び慕う恵真。「普通」の家族関係を築けなかった者たちの奇妙な共同生活は、途中、うまくいきかけたものの、聖子の病で終わりを告げ——。すれ違う母と娘の感動長篇。

境界線 中山七里

『護られなかった者たちへ』を超える慟哭——。戸籍売買の闇を描く社会派ミステリー！

女性の遺体が発見された。身分証から、七年前の東日本大震災で行方不明になっていた人物であることが判明した。名前は笹篠奈津美。宮城県警捜査一課警部・笹篠誠一郎の妻だった。笹篠は遺体の待つ現場へ急ぐ。しかし、目にしたのは妻とはまったくの別人だった。笹篠は妻を騙られた怒りを抱えながら個人情報流出経緯と遺体の身元を探る。しかし、さらに事件が起こり——。

銀河ホテルの居候 また虹がかかる日に

ほしおさなえ

南軽井沢の銀河ホテル。イギリス風の瀟洒な洋館の一角に、「手紙室」がある。室長の苅部文彦は、このホテルに居候する風変わりな男。彼の手紙ワークショップを受けると、なぜか心の奥のほんとうの気持ちが見えてくる。娘家族と最後の思い出作りにやってきた老婦人、秘密を抱えたまま仲良し三人組で卒業旅行にきた女子大生——銀河ホテルを訪れたお客さんが、手紙を書くことで人生と向き合う感動作。

命の砦 夏川草介

敷島寛治は長野県信濃山病院に勤務する四十二歳の消化器内科医である。令和二年二月、院長の南郷は横浜港に停泊するクルーズ船内のコロナ患者を受け入れることを決めた。呼吸器内科医も感染症専門医もいない地域病院の決断は、そこで働く人々と家族に大きな試練を与えることになる。敷島がコロナ診療チームに加わって二月後の四月上旬、保健所は信濃山病院の感染症病床を六床から十六床に増床するよう要請する。コロナ診療のすべてを小さな信濃山病院に背負わせようとする地元の体制に院内は紛糾するが…。